

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課  
担当課長名：菊地 春海

事業名	地域高規格道路 南部東道路 主要地方道 南風原知念線	事業区分	地方道	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県島尻郡南風原町 至：沖縄県南城市玉城字垣花			延長	8.3 km
事業概要					
<p>南部東道路は、南風原町内の那覇空港自動車道から南城市の大里、玉城、佐敷を經由して、知念に至る延長約12kmの地域高規格道路である。このうち8.3kmが当事業の区間である。</p> <p>本路線は、沖縄県広域道路整備基本計画に位置づけられており、沖縄自動車道や那覇空港自動車道等本県の縦軸を形成する高規格道路等に対しそれらの機能を補完する横軸を形成する道路である。</p>					
H18年度着工準備		H23年度都市計画決定		H25年度用地着手	
H27年度工事着手					
全体事業費	182億円		事業進捗率	16%	
計画交通量	16,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 5.6 (残事業) 6.7	総費用： (残事業)/(事業全体) 130/156億円 (事業費：126/152億円 維持管理費：3.9/3.9億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 876/876億円 (走行時間短縮便益：734/734億円 走行経費減少便益：105/105億円 交通事故減少便益：37/37億円)	基準年： 平成27年	
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C=6.2 (交通量+10%)		B/C=5.1 (交通量-10%)		
事業費変動	B/C=5.1 (事業費+10%)		B/C=6.2 (事業費-10%)		
事業期間変動	B/C=5.2 (事業期間+20%)		B/C=6.0 (事業期間-20%)		
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（那覇空港までの30分圏域の人口増加【約75.1万人→77.1万人】）</li> <li>観光振興の支援（世界遺産である首里城から斎場御嶽への所要時間短縮。【52分→35分】）</li> <li>安全で安心できる暮らしの確保（第3次医療施設へのアクセス向上：南部医療センター・こども医療センター）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>南風原町、南城市の首長、議会議長、商工会長らで構成される「南部東道路整備促進期成会」より早期整備の要望を受けている。</li> </ul>					
事業評価監視委員会の意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続は妥当である。</li> <li>沖縄県知事の見解：委員会の意見を受けて事業継続とした。</li> </ul>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年3月に高規格道路那覇空港自動車道（豊見城東道路）が全線4車線供用</li> </ul>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>用地進捗 24%、事業進捗率 16%</li> </ul>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度に大里東IC～佐敷・玉城IC間を暫定供用予定。</li> </ul>					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>インター形状の見直し等の構造検討を行い、コスト縮減に努めている。</li> </ul>					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</li> </ul>					
事業概要図					
					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。